

国語科

<第1学年 学習到達目標>

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解しようとしたりする力を育む。

【思考力、判断力、表現力】 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<第2学年 学習到達目標>

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力】 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<第3学年 学習到達目標>

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

<評価について>

国語科の授業では次の3観点について評価をしていきます。

○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

1 『知識・技能』の評価

個別の知識及び技能の習得状況について評価します。また、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

2 『思考・判断・表現』の評価

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかどうか評価します。

3 『主体的に学習に取り組む態度』の評価

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうか評価します。なお、本校では単元ごとに振り返りレポートを作成します。そこで学習状況と学習の進め方を確認し評価を判断する要素とします。

4 評定

- | | | | | |
|-------------|---|-----|-----|-------|
| 5 特に優れている | 例 | AAA | | |
| 4 十分満足できる | 例 | AAB | BAA | ABA 等 |
| 3 おおむね満足できる | 例 | ABB | BBB | BBC 等 |
| 2 努力を要する | 例 | CCB | BCC | CBC 等 |
| 1 一層努力を要する | 例 | CCC | | |

〈第1学年〉

学期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品の構成や展開を描写をもとに理解します。 ・詩を声に出して読み、言葉のリズムを味わいます。 ・詩に描かれた情景を考えます。 ・硬筆で楷書を書きます。 ・文章の展開の特徴を理解し、筆者の主張を読み取ります。 ・人権や平和について考え、自分の意見をまとめます。 ・写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜蝶 ・ふしぎ ・四季のたより 春 花 ・硬筆 ・自分の脳を知っていますか ・ベンチ ・全ては編集されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情や主題の読み取り ・詩のリズムに注意した音読の仕方 ・表現技法(比喩表現、擬音語) ・硬筆の楷書 ・文章の構成、要旨 ・筆者の意見の読み取り ・自分の考えのまとめ方 ・ビブリオバトル ・メディアリテラシー 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫して朗読します。 ・構成や展開に注意して物語を読みます。 ・古典作品のおもしろさを味わいます。 ・古文の仮名遣いに慣れます。 ・冒頭文を暗唱します。 ・文章に書かれている筆者の考えをはっきりさせ、自分の考えをもちます。 ・毛筆で行書を書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河童と蛙 ・オツベルと象 ・昔話と古典 ・物語の始まり(竹取物語) ・故事成語 ・森には魔法つかいがある ・子どもの権利 ・書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・朗読の工夫 ・登場人物の心情の変化に沿った展開の把握 ・古典作品との出会い ・伝統文化への興味、関心 ・歴史的仮名遣い ・古文のリズム ・事実と意見の区別 ・論理の展開 ・筆者の意見の読み取り ・行書の書き方 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の描写に注意して読みます。 ・筆者のものの見方や考え方を捉えます。 ・読んで印象に残ったところや感じたことを発表します。 ・会話や行動に注意して読み、登場人物の人物像を明らかにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蜘蛛の糸 ・言葉がつなぐ世界遺産 ・少年の日の思い出 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情や行動・情景描写 ・要約や要旨 ・感想の書き方 ・心情と主題の読み取り ・文章表現(比喩表現) ・登場人物の整理、比較 ・自分の考えのまとめ方 ・効果的な書き方、話し方 	

〈第2学年〉

学 期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読んで情景を想像するとともに、表現の特徴を学びます。 ・登場人物の言動の意味などを考えます。 ・硬筆を書きます。 ・読書し知識や考えを深めます。 ・筆者の考えをとらえ、自分の考えをもちます。 ・声に出して読み感じたことを発表します。 ・好きな一首を選び鑑賞文を書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の足 ・豚 ・タオル ・硬筆 ・読書 ・日本の花火の楽しみ ・夢を跳ぶ ・短歌の味わい 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩のリズムに注意した音読の仕方 ・表現技法(比喩表現、擬音語) ・主人公の心情の変化 ・硬筆の楷書 ・ビブリオバトル ・筆者の意見の読み取り ・短歌の特徴 ・短歌の内容の読み取り 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文学の面白さを味わい、登場人物の心の動きを段落ごとにとらえます。 ・何回も音読し、すらすら読めるようにします ・古人の生き方やものの見方を知ります。 ・近代文学の魅力に触れます。 ・行書で書き初めを書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の葬列 ・敦盛の最期（平家物語） ・随筆の味わい（枕草子、徒然草） ・孔子の言葉 ・坊っちゃん ・書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情と主題の読み取り ・登場人物の整理、比較 ・歴史的仮名遣い ・冒頭文の暗唱、漢文のリズム ・作者と作品 ・自分の考えのまとめ方 ・文学作品の味わい方 ・読書計画 ・行書の書き方 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開を正確にとらえます。 ・感想を持ち、新たなものの見方や考え方を発見します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の山 富士山 ・ガイアの知性 ・学ぶ力 ・走れメロス 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開 ・事実と意見との区別 ・心情や主題の読み取り ・登場人物の人物像 	

〈第3学年〉

学期	学習のねらい	単元名・教材名	学 習 内 容	チェック
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた「気持ち」と比較しながら自分の気持ちを見つめます。 ・表現に注意して読みます。 ・場面や登場人物の設定の仕方をとらえます。 ・行書に気をつけて、硬筆の作品を仕上げます。 ・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、考えを深めたりします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春に ・初恋 ・やわらかな想い ・立ってくる春 ・私 ・硬筆 ・薔薇のボタン 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴をとらえた朗読 ・語句の使い方と効果 ・登場人物の設定と心情の変化 ・行書のいろいろな形 ・文章の構成、要旨 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べて自分の考えを深めます。 ・俳句と俳文が並んでいる効果を考え、筆者の思いをとらえます。 ・言葉にこめられた作者の思いを考えながら歌や詩の意味を考えます。 ・俳句という形式について知り、作者の思いを想像します。 ・行書に気をつけて、毛筆の作品を仕上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A I は哲学できるか ・async 同期しないこと ・問いかける言葉 ・旅への思い（おくのほそ道） ・和歌の調べ（万葉集・古今和歌集・新古今和歌集） ・風景と心情（漢詩） ・近代の俳句 ・書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の形式の特徴や効果 ・冒頭文の暗唱 ・歴史的仮名遣い ・古文のリズム ・和歌の音読 ・内容の読み取り ・漢詩のリズム ・俳句の特徴 ・行書の筆使い 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学のおもしろさに触れます。 ・読んで印象に残ったことや感じたことをまとめ、発表します。 ・主人公にとって「故郷」の意味を考えそれに対する考えをもちます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の一句 ・故郷 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品の読み方 ・内容の読み取り ・登場人物の心情と主題の読み取り ・自分の考えのまとめ方 	